

# あぶ

ひまわりホールから  
発信する  
シアター情報誌



## 新進劇作家が人形&モノと格闘



- ① 劇作家とつくる短編人形劇より
- ① 「わらの橋」(作・演出: 渡山博崇)
  - ② 「かもめ」(戯曲: アントン・チェーホフ、脚色・演出: 吉田光佑 a.k.a.SABO)
  - ③ 「MANGAMAN」(作・演出: ニノキノコスター)

Aichi  
Puppetry  
Center

## 中部日本の山車と からくり人形



有松祭り布袋車 文字書き人形



田原祭りまつりの舌出し総代人形 更科姫人形の内部構造



はんだ山車まつりの総揃え風景

### 秋の収穫を感謝してからくり人形の出る山車祭り

夏の祭りは都会に集まる人々の疫病退散、厄払いをして日常の安全を祈るもので、春日井の玉野天王祭(7/16)、名古屋市内の牛立天王祭(7月4日曜)、大森天王祭(8/1)にからくり人形山車が出ます。祇園祭り7月17日巡行の山鉦は23基中、かまきり山一基のみがからくり仕掛けです。昆虫をテーマにしたのはさすが風流ですね。

9月半ば、渥美半島の田原祭は3台の名古屋型山車が出る盛大な祭り、萱町車の前人形は長い舌をペロッと出し、目玉をむいたり閉じたりユーモラスです。

実りの秋のハイライトは、なぜか10月第1土日に密集する愛知県各地の秋祭りです。津島祭りは春の犬山祭りと双壁で、少し小ぶりです

が見事な装飾の11台の山車とからくり人形が出ますし、隣町の神守も可憐な花で飾った3台のからくり山車が見ものです。名古屋市市中川区の戸田は古き名古屋の農村風情を今も残している所で、5台の山車には宙吊り、文字書き、綾渡りほか優秀なからくり人形があり、お囃子連も豪華です。東海道宿場町の有松、鳴海の秋祭りもからくり人形山車が中心で、有松祭り布袋車の文字書き人形は二代目玉屋庄兵衛作と伝えられ、采振り人形の可憐さ、文字書き人形の恐るべき精巧な機構は、永遠のベストセラーといえるでしょう。

名古屋駅の東、名古屋国際センター近くの広井神明社祭に3台のからくり人形山車があり、変身、逆立ちなどをする古典的な美しい人形が見られます。

NPO法人ミネルバ名古屋代表 千田靖子

### からくり人形の構造と仕掛け

「ロボットのように、なぜ一人で動けるのか?」と人々を不思議がらせるからくり人形は、衣裳を外してみれば、まさしく機械構造そのものが現れます。木製で、しなやかで強い絹の燃糸、ゼンマイ、歯車、滑車などが使われ、釘、ぜんまいにはセミ線のひげが使われました。最近では国際的に捕鯨が禁止となって材料入手が難しくなっています。

### はんだ山車まつり 10/7・8

5年に1度で恒例の「はんだ山車まつり」が今年10月7日(土)・8日(日)行われます。高さ5~6m、重さ3~6トンの大きな山車が31台、市内10地区から集まって市役所そば広場に総揃い。その中11台にあるからくり人形演技も披露されます。装飾した山車は動く美術館とも言われ、迫力ある山場が感動を呼ぶでしょう。

### からくり人形の載る山車が見られる祭り(秋)

| 祭りの名称  | 日程(9月~10月)      | 場所        | 人形の演技       | *     |
|--------|-----------------|-----------|-------------|-------|
| 田原祭り   | 9月15日直近の日曜とその前日 | 神明社、八幡社   | 幣振り、鮎釣り、ほか  | 3/3   |
| 横須賀まつり | 9月4日曜           | 愛宕神社      | 変身、逆立ち、薨割り  | 4/4   |
| 津島秋祭   | 10月第1日曜         | 津島神社      | 変身、文字書、巫女   | 11/11 |
| 戸田まつり  | 10月第1土日曜        | 八幡社、天満社ほか | 綾渡り、文字書、ほか  | 5/5   |
| 大田祭    | 10月第1土日曜        | 大宮神社      | 文字書き、綾渡、ほか  | 4/4   |
| 有松天満宮祭 | 10月第1日曜         | 有松天満社     | 鮎釣り、文字書、ほか  | 3/3   |
| 高山祭    | 10月9日・10日       | 八幡神社      | 布袋台で唐子の綾渡り  | 1/11  |
| 名古屋まつり | 10月10日~20日の日曜   | 名古屋市役所前   | 逆立ち、獅子舞、ほか  | 9/9   |
| 広井神明社祭 | 10月第2土日曜        | 神明社       | 逆立ち、面被り、二福神 | 3/3   |

\*上記以外にもあり。 お問い合わせはsenday@ams.odn.ne.jp 千田まで

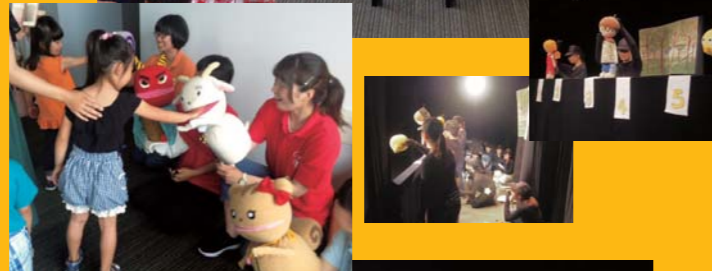
## 緊急アンケート! 学生人形劇サークル大集合

2017年7月9日、学生人形劇サークルとの共催事業「たなばた公演」が行われました。この企画の前身は、1996年に始まった「あじさい公演」。その後、開催時期が7月上旬になったことを受け、現在の名称に変更。今年も人形劇などの活動をしている東海地方の大学・短大の学生サークルが集まり、ひとつの企画を作り上げました。

今回「たなばた公演」に参加した皆さんに、学生人形劇サークルが抱える課題や将来について聞いてみました。すると、さまざまな意見が飛び出して……!!



—たなばた公演に参加して、どう思いましたか?  
「同じ人形劇のサークルでも、各々に個性があることを知ると共に、人形劇をもっと盛り上げていこうという意欲が伝わり、感動しました」  
「大変なこともありましたが、他大学のサークルと協力し、アイデアを出し合っって一つの企画を作り上げたことは、とても楽しく、やりがいがありました。貴重な体験をさせて頂きました!」



—他サークルと一緒に上演や企画を行う意義は何だと思いますか?  
「サークル同士で刺激し合うと共に、他サークルとの交流で意見や技術、協力することの大切さを学び、かつコミュニティを広げることができると思っています!」  
「新しい技術やシステムを人形劇、サークル運営に採用し、互いに高めあう事だと思います。様々なアイデアは刺激になります。他大学から刺激を受けることが、サークルの発展には欠かせません。他大学のアイデアを直接感じられる「たなばた公演」は、とてもいい試みだと思います!」



—今の学生サークルが抱える課題は何ですか?  
「部員を増やすこと、そして人形劇に興味を持ってもらうことです!」  
「知識不足でしょうか…今回、たなばた公演に関わり、それを実感しました。むすび座などプロ劇団の劇を鑑賞したり、他大学の方と交流することで知識を深め、学生の人形劇をさらに高められたら良いと思います!」



—学生人形劇サークルは今後どうなっていくと思いますか?  
「いかにメンバー全員のモチベーションを保てるかによって、今後が変わるのではないのでしょうか」  
「コミュニケーションツールの発展により、交流がより簡単になりました。そのため、今後さらに大学間の繋がりを強くできると思います。今回のたなばた公演でも、新しく参加して下さった団体の方がいらしゃいます。学生人形劇サークルの輪が、今後どんどん広がっていくと良いと思います!」

たなばた公演2017 参加大学 & 団体名

【上演団体】

- 愛知教育大学 子ども向け人形劇サークル「じゃんけんぼん」
- 愛知県立大学 人形劇サークル「とびねこ」
- 桜花学園大学・名古屋短期大学 児童文化研究部「どかあん」

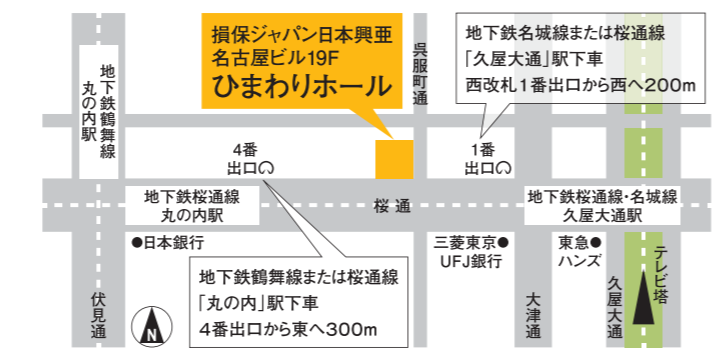
【スタッフ参加・合同公演参加団体】

- 愛知淑徳大学 童話研究会「かみひこぎ」
- 岐阜聖徳学園大学短期大学部 人形劇団「ぶんちく」
- 中部大学 子育てすく育て隊
- 名古屋女子大学 児童文化研究部「かけこ」

今回は一部、社会人がフォローしましたが、大半を学生主体で作りました。若くて元気のあるメンバーに人形劇の魅力を感じてもらい、卒業後も何らかの形で人形劇に関わってくれるとうれしいですね。今後もそうした活動を応援していきたいです。



聞き手: 愛知人形劇センター理事 伊藤 進



特定非営利活動法人  
**愛知人形劇センター**  
〒460-8551 名古屋市中区丸の内3-22-21  
損保ジャパン日本興亜名古屋ビル8F  
TEL 052-212-7229 FAX 052-212-7309  
http://aichi-puppet.net/ MAIL:mail@aichi-puppet.net

愛知人形劇センター  
ひまわりホール情報誌  
発行: 特定非営利活動法人 愛知人形劇センター  
発行人: 木村繁  
編集人: たかはしちげん  
デザイン: 江利山浩二(KINGS ROAD)  
編集: 小島祐未子(家鴨の編集舎)

あぶ  
Aichi  
Puppetry  
Center

※愛知人形劇センター ※本誌記事・写真・レイアウトの転載を禁じます。